

産建文教常任委員会

町の将来像 実効性のある計画を

6月8日に委員会が開催され、「都市計画マスタープランの策定」について説明を受けた。

策定から20年、社会情勢が大きく変化

【事業内容】

①社会情勢の変化、都市計画の進捗状況等を踏まえ、平成8年度に策定した町の都市計画に関する基本的な方針を見直す。

②土地利用状況を勘案し、用途地域の見直しを検討する。

③道路機能等を勘案し、都市計画道路の見直し方針をまとめる。

質疑

人口減少の影響は

委員 急激な人口減少から、将来的な行政サービスのコスト増が見えてくるが。



この景色、どう変わる



高齢者にやさしい町づくりを。

【当局】 各事業を実施するには、1ヘクタールあたり40人の人口密度が必要とされるが、基礎調査の結果では、本町は1ヘクタール30人程度であり、苦しい状況と言える。

【委員】 人口減少も踏まえ、町民の意見も取り入れるべき。

【当局】 策定検討委員会に、役場以外の外部の方が入る事は有効である。実のある組織体制を検討していく。

利用者の利便性向上

【事業概要】

東陽の里公園グラウンド南側に、利用者のための駐車場を整備する。
面積：3546㎡
駐車台数：普通車95台・大型車6台
事業予算：6498万円
財源：過疎対策事業債

質疑

安全対策は

【委員】 国道からの進入のための右折レーンを県に要望しているか。出入り口付近の植栽で見通しが悪くならないか。

【当局】 県からは、出入りが朝晩に限るため、右折レーンまでは必要ないのでとの意見を



冬期間も有効利用を。



駐車場予定地、交通安全対策は万全か

交通の安全対策も万全に

「東陽の里グラウンド駐車場整備事業の概要」について説明を受けた。



ひょう被害に遭ったリンゴ

- その他
- 農山漁村振興交付金事業
 - アルカディア財団の経営状況
 - 鮎貝中継ポンプ場移設の状況
 - 町道路線の認定及び廃止
 - 5月29日の降ひょう被害について説明があった。